

令和 3 年度

第 2 回鴨川市立図書館協議会次第

日 時 令和 3 年 1 1 月 1 2 日 (金)
午後 3 時から
場 所 鴨川市立図書館 集会室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 教育長あいさつ

4. 議題 (1) 令和 3 年度鴨川市立図書館事業中間報告について
(2) 図書館運営の現状と課題について
(3) その他

5. その他

6. 閉 会

令和3年度鴨川市立図書館事業中間報告

令和3年度第2回鴨川市立図書館協議会資料

「赤ちゃんからご高齢の方まで、みんなに親しまれ利用される図書館づくり」を目指して

対象	行事名	開催	開始年	概要（R2年度実績 及びR3年度内容）
幼児 向け	おひざにだっこのおはなし会	月1回	H21	赤ちゃん向けのおはなし会 参加者 月平均 20名 （R2年度 4～7月・1～3月中止） （R3年度 8～9月中止）
	ブックスタート事業	随時	H23	鴨川市内で誕生した乳児に対し、絵本1冊 と記念のバックをプレゼント 引換率 69.5%（令和2年度末）
	ぬいぐるみのお泊まり会	年1回	H29	子どもが大切にしているぬいぐるみを図書 館にお泊まりさせ、絵本への親しみや図書 館への関心を深めてもらう事を目的とした 事業 令和4年2月予定
	《R3年度新規事業》 外国語のおはなし会 世界の絵本を楽しもう！	年2回	新規	世界のグローバル化が進む中で、様々な言 語での読み聞かせを体験することで、その 国の言葉や物語に興味を持って貰うことを 目的とする事業 （R2年度 コロナのため中止） 6月12日（日）英語を実施 参加者 25 名 第2回（韓国語）は11月28日開催予定



おひざにだっこのおはなし会



世界の絵本を楽しもう（英語）

令和3年度鴨川市立図書館事業中間報告

児童・生徒向け	おはなしひろば	月1回	H21	小学校低学年までの対象おはなし会 参加者 月平均 10名 (R2年度 4～7月・1～3月中止) (R3年度 8～9月中止)
	なかよしひろばおはなし会	月1回	H30	小学校低学年までの対象おはなし会・大山公民館分室にて実施。 参加者 月平均 5名 (R2年度 4～9月・1～3月中止) (R3年度 8～9月中止)
	としょかん子どもフェスタ	年1回	H22	読み聞かせや工作、図書館クイズ、マジックショーなど、図書館に親しみを持って貰うための夏の行事 (R2、3年度 コロナのため中止) *特別企画として、「ピエロショー」を計画中
	子ども司書講座	年3回	H22	図書館の仕組みや役割を知り、図書館に親しみや関心を持って貰う事を目的に実施 6月6日(日)、20日(日)、7月4日(日)3日間実施 参加者 11名
	中学校への配本図書事業「かもとしょ」	学期毎	H25	朝読書用の図書を各中学校の1クラス40冊ずつ配本
	小学校への配本図書事業「かもとしょ」	年2回	H28	小学校の図書室へ100冊～200冊の本を配本。R1年度に市内全ての小学校への配本が完了となった。今後本の入れ替えを行いながら、継続的に実施していく。
	映画上映会	年1回	H29	平和について考える映画会として、夏の終戦記念日に合わせて開催。 (コロナのため中止)



小・中学校への配本図書事業「かもとしょ」



子ども司書講座

令和3年度鴨川市立図書館事業中間報告

成人向け	本のリサイクル市	年1回	H12	市民から寄贈された図書のうち、図書館で受入しなかった図書を無償譲渡 12月5日開催予定 *整理券を配布し、時間制限や人数制限をかけながら実施
	お話を楽しむ会	年2回	H21	名作や昔話をボランティアの朗読により楽しむ行事。 6月29日（火）実施 参加者10名 第2回目を2月頃に開催予定
	図書館ボランティア研修会	年1回	H21	絵本に関する講演会や読み聞かせに関する研修会を実施し、ボランティアの育成につなげていく。 令和4年1月予定
	本の福袋	年末10日程度	H28	図書館員がテーマ毎に選書した本を1袋に3冊ずつ入れ貸出。大人用30袋、子ども用30袋。 今年度1月4日より開催予定
	映画上映会	年1回	H29	名作とふれあう上映会として、映像による文学を楽しむ機会を提供。 12月11日（土）開催予定
	文学講座	年1回	新規（単年）	文学に関する講座や講演会。H30、R1、R2は「伊勢物語」を開催。 今年度は「方丈記」を10月31日（日）に実施。
	絵本作家講座	年1回	新規（単年）	楽しみながら本への親しみや興味を持って貰うことを目的に実施する講演会。絵本を通じて親子の絆を深める機会を提供する。 令和4年3月頃を予定

<昨年度の様子>



本のリサイクル市



文学講座



本の福袋

令和3年度 図書館運営の現状と課題

第2回図書館協議会資料

1. 現状(4月1日～9月30日)

	令和3年度(A)	令和元年度(B)	増減 (B-A)	比較 (A/B)
1)開館日数	129	151	22減	約85%
2)入館者数	22,753	32,222	9,469減	約71%
3)貸出冊数	58,131	64,425	6,294減	約90%
4)貸出人数	13,450	16,514	3,064減	約81%
5)イベント等実施数	17	25	8減	約68%

コロナ禍の中で開館日数やイベント等が制限され、入館者数や貸出冊数の減少につながっている。緊急事態宣言の延長を受け、去る8月25日から9月21日まで臨時休館し、9月22日から開館することになったが、昨年から続くコロナ禍での行動制限が定着したためか、利用者の出足はまだコロナ前に戻っていない状況である。

※電話やメール等による予約受け取りサービスは9月11日から再開

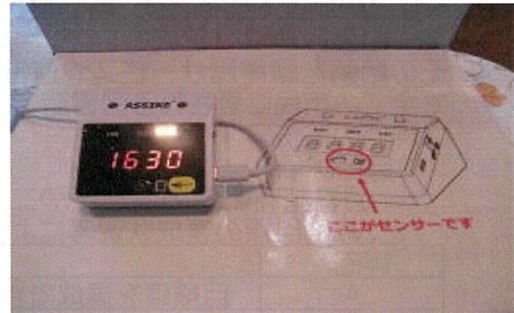
※例年2月下旬から8日間、休館にして蔵書点検を行ってきたが、本年度は9月の臨時休館の間に実施した。

(1) ホームページの更新(別紙参照)

以前のホームページは利用者にとってわかりづらく、図書館へのアクセスに難があったが、この9月1日にリニューアルした市のホームページでは大幅に改善された。主な改善点は、市のホームページ上に、「図書の予約」と「市立図書館の写真」が設けられ、そこから速やかにアクセスできるようになったことである。図書館のホームページも更新され、利用者にとってわかりやすく目的に合った使い方ができるようになった。

(2) 新型コロナウイルス対応

新型コロナウイルス感染防止対策として、これまでも種々取り組んできた。今回、職員の負担軽減という視点から、利用者自身が体温を測定確認できる非接触型検温器を導入した。37.5℃以上のときは警戒音になるので、カウンター業務をしている職員も容易に気づくことができる。導入して1ヵ月以上経過したが概ね好評である。



(3) 特色ある配架の工夫

鴨川市の特色である「観光・医療・子育て」の分野が利用者にわかりやすくなるように整備していく。今年度は、「医療」のコーナーを病気や症状などに分けて表示し、次年度は「子育て」、再来年度は「観光」と計画的に配架の工夫をしていく。

2. 課題

(1) 図書購入費の確保

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
図書購入費	約650万	約550万	約500万	約450万
購入冊数	3,229冊	3,360冊	2,731冊	約2,500冊
除籍冊数	1,139冊	2,244冊	1,129冊	約1,000冊
総蔵書冊数	99,429冊	101,055冊	102,153冊	約104,000冊

本館蔵書(リクエスト本を含む)、分室蔵書、小・中学校配本事業、こども園への団体貸出等を念頭に置いて図書を購入していく必要がある。近年、市の財政事情を勘案して予算を減額して要望してきたが、市民サービスや学校との連携という視点で鑑みたとき、予算の減額には限界がある。

(2) 施設の維持・管理

①照明のLED化

長寿命化や長期的な維持管理コストの削減の観点から計画的・継続的にLED化を図っていく。次年度は学習コーナーやカウンターの照明7箇所をLED化できるようにしたい。開館から30年が経過し、電気盤が壊れ照明がつかなくなってしまった箇所が多くあり、学習する場所も暗く、利用者も不便を感じている。

※LEDの寿命は約40,000時間。年間290日開館した場合、年間約2,320時間（一日8時間）照明を使用していることになるが、LEDにすれば、17年間電球の交換が要しなくなり、維持管理コストの軽減となる。

- ②閲覧席床やブラインドカーテンの修繕
道路側の床が浮き上がっている。雨水が長年吹き込んで床板が膨張し且つ接着剤が剥がれてしまったためと思われる。



(3) 家庭読書の推進

「鴨川市子どもの読書活動推進計画」には、幼稚園から中学3年まで、各発達段階ごとに家庭読書の目安が示されている。例えば、幼稚園は1週間に30分程度、中学1年では1週間60分程度。読み聞かせ等の図書館イベントを充実していくとともに、学校や保護者会との連携を図りながら、家庭での読書が一層定着するように働きかけていく。

(4) 評価方法の改善

①評価のねらい

鴨川市立図書館では、図書館法第7条の3に基づき、図書館の運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、各年度の運営に関する目標及び指標を設定し、図書館サービスや図書館運営状況について、目標の達成状況の評価を行い、結果を公表する。また、その結果を図書館サービスや運営に反映させることによって、「赤ちゃんから高齢者まで全ての市民に愛される図書館づくり」を目指す。

②評価の方法等

1)自己評価

図書館利用者の満足度やニーズの把握等を目的とする利用者アンケートの結果と、数値目標の達成状況等により、次の4段階の区分で自己評価を実施する。

評価	評価基準
A	目標値を達成でき、一定の効果・成果があった。
B	少し不十分な点があるが、概ね目標値を達成できた。
C	不十分な点や課題があり、目標値を達成できなかった。
D	不十分な点や課題が多く、目標値を全く達成できなかった。

【自己評価の具体例】

重点施策	指標	数値目標 (令和4年度)	実績	達成度 %	評価
また来たくなる図書館づくり	図書館資料の充実	105,000冊	110,000冊	105%	A

※利用者等らの具体的な意見要望については記述してまとめる。

2)外部評価

図書館の自己評価に対して、図書館協議会から意見聴取を行う。

②評価のサイクル

前年度3月	次年度の基本方針や指標、数値目標の設定
4月から3月	基本方針、重点施策に基づく事業の実施
1月	利用者アンケートの実施
2月	自己評価の実施
次年度5月	外部評価の実施
次年度6月	評価結果の公表

③評価の公表

評価結果は外部評価の後、図書館ホームページ等で公表する。